

年	組	名前
---	---	----

県内人口 大分、中津、豊後高田、日出 4市町 社会増

大分県が27日公表した推計人口によると、10月1日時点の県内人口は170万2千人で、2010年国勢調査時から4年間で2万4827人減少した。市町村別で見ると、出生が死亡を上回る自然増は大分市のみ。転入が転出を上回る社会増は大分、中津、豊後高田、日出の4市町だった。全体では大分市を除く17市町村で減少しており、人口減少対策が急務となっている。

雇用、住環境整備に注力

県都への人口一極集中が顕著となる一方、社会増となった自治体では産業集積や移住促進策の取り組みが、たったといえそう。大分市は自然増が224人、市内町村で最も高く、出生者数の多きにつながついて1447人。社会増が1447人。10年国勢調査では20〜39歳層とみられる。県統計調査団地の立地企業などによる

課は「大学進学や就職で、県内の若い人が大分市に集まる動きが見られる」と分析している。

社会増となった中津市はダイハツ九州を中心に自動車産業が集積。日出町はベッドタウンとして別府市や杵築市などからの流入が見られるという。

「健闘」しているのは移住・定住支援に力を入れている豊後高田市。市によると、空き家バンクや新婚世帯への支援金交付など各種

	人口	増減	出生-死亡	転入-転出
県計	1,702,000	▲24,827	▲16,761	▲8,066
大分市	477,788	▲3,694	▲2,247	▲1,447
中津市	121,422	▲3,963	▲2,436	▲1,527
日出町	84,109	▲203	▲688	▲485
豊後高田市	67,886	▲3,054	▲1,729	▲1,325
津久見市	73,286	▲3,665	▲2,228	▲1,437
杵築市	39,359	▲2,110	▲1,343	▲767
竹田市	18,432	▲1,485	▲706	▲779
豊後高田市	22,796	▲1,627	▲1,334	▲293
宇佐市	23,014	▲892	▲1,033	▲141
豊後大野市	30,312	▲1,771	▲917	▲854
布東市	56,714	▲2,294	▲1,685	▲609
由布市	37,357	▲2,095	▲1,648	▲447
日南市	33,826	▲876	▲596	▲280
国姫町	29,623	▲2,379	▲1,520	▲859
日出町	2,004	▲185	▲81	▲104
重珠町	28,017	▲204	▲215	▲11
玖波町	9,791	▲630	▲409	▲221
玖波町	15,966	▲1,088	▲440	▲648

※増減は4年間の動き、▲は減少

推計人口増減 2010年〜14年10月1日時点

求人も多いという。ただ中津、日出、豊後高増を上回っており、合計で

大分県が公表した推計人口によると、10月1日時点の県内人口は170万1702人でした。

①「自然増・減」と「社会増・減」とはそれぞれ、どういうことでしょうか。

②4市町はそれぞれ、なぜ社会増となったと考えられますか。

③県都・大分への人口一極集中が進んでいます。そのことをどう思いますか？理由を付けて考えてみよう。

は人口減。残る14市町村はいずれも自然減・社会減だった。県全体では自然減が1万6761人、社会減が8066人。トータルで2・07%減だった。全国は0・76%減(概算値ベース)。

国勢調査は5年に1度、10月1日時点で実施(今回は2015年)。推計人口は国勢調査の人口を基に、毎月の出生・死亡や転入による増減を累計して出している。市町村の住民登録人口とは異なる。